

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和四年三月度 入賞句一覧 投句数 五百二句

特選



田中 青志 選

根の土を落すに葱をぶつけ合ふ 東京都世田谷区 関戸 信治

仲間同士励まし合つて学徳を磨く切磋琢磨という言葉がある。ラグビーで男たちが体をぶつけ合うのも己を磨くことに繋がるのであろう。「肉弾相打つ」も好きな言葉である。この句は、そんな大げさなこととは言っていないが、農夫の動作をさりげなく描いて愚直な姿まで彷彿させるよろしさを思う。

きらきらと氷柱力を抜いており 東京都北区 菱沼 多美子

きらきらは光り輝くことのオノマトペ。人間ならこれ見よと力を入れるところ、矢でも鉄砲でも持つてこいと息む場面でもある。それを力を抜く姿とは冷静である。人の心を逆手に取るという言葉があるがその通り、相手の力を利用して押し返すのが極意だとか。折角力を入れようとしたのに肩透かしを食らつたと感じながらこの世を生きる極意が潜んでいる。

通るたび声かけられて雪だるま 大垣市 末守 節子

雪だるまにも人気、不人気があるようで面白い。この雪だるま君、余程うまく作られているのである。これには作つた人の心があるような気がする。画竜点睛という言葉があるが、描いた龍に瞳を書き入れたらたちまち天に昇つたとの故事から、そんな大げさなことではないにしても、この人気者の雪だるま君の姿からそれぞれ想像を逞しくできるよろしきがある。

秀逸

薄氷や貧しき家も富む家も 東京都狛江市 椎野 一恵

三日ほど書けぬ日記や春の風邪 大垣市 柏瀬 澄子

肩肘を張らずに生きて去年今年 大垣市 和田 勝子

手をつなぐ児の耳透けて春入日 東京都新宿区 花澤 ちいこ

目に見えぬコロナ風邪など引けずいる 大垣市 宇津 香代子

日を受けて岸を離るる氷かな 大垣市 鶴田 信子

飛べさうで跳べぬ小川や水温む 大垣市 早崎 美弥子

知らぬ間にこんな齢になつて春 大垣市 坂 キクエ

段畑を下から順に耕しぬ 兵庫県神戸市 岸下 庄二

いつもより低き体勢狩の犬 広島県福山市 中常 かつたろー。

入選

軸変へる早春の部屋なごみつ

山茶花の咲きこぼれたる廃家かな

花よりも枝ぶりをほめ梅一輪

スキージャンプ北京の空の鳥になる

水仙の雪を払いて夫に供花

立春や妻の歩みに追ひつかず

水草の眩しさざなみしじみ蝶

自販機のジュースを押しして浅き春

流し雛来世は人に生まれなむ

窓よりの光が部屋に日脚伸ぶ

母を待つ改札口の余寒かな

薄氷や読経洩れくる薬師堂

ぼたもちに足を投げ出す彼岸かな

もう一度立ち寄る部室卒業子

やわらかき風の生まるる吊るし雛

外つ国へ吾子の赴任や春の雪

しだれ梅無人となりし生家かな

山腹のはだれ解けゆく遠伊吹

一堂に雅ひいな美術館

明日への力の湧きぬ寒の水

大垣市

中山 あや子

安八郡神戸町

中村 信正

大垣市

岡田 あや子

大垣市

大杉 すみゑ

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

大垣市

長谷川 路山

大垣市

江崎 千鶴子

京都府京都市

八田 弥須子

安八郡安八町

渡辺 やちよ

不破郡垂井町

大羽 志津子

大垣市

酒井 和美

大垣市

小林 研

養老郡養老町

松永 智志

養老郡養老町

田中 紫香

神奈川県川崎市

佐藤 廣枝

愛知県豊田市

城山 悠水

神奈川県相模原市中村

光枝

岐阜市

辻 雅宏

大垣市

尾関 逸子

愛媛県松山市

平野 ヒサエ

選者吟

ハイタツチして入学子門潜る

青 志

一般の部

